

花の心 たいとう



台東区は、江戸時代より朝顔市や植木市が開かれるなど、人情豊かな風情と園芸文化を醸し出し、暮らしの中で花に親しみ、人々の生活と自然との調和が保たれてきました。

しかし、高度成長から経済大国、成熟社会へと進むにつれ、人々は自然を畏敬し、共に生きる大切さを忘れつつありました。

こうした中、発生した平成23年の東日本大震災。多くの人々が、思いやり、助け合いの大切さや、日本人が古来から育んできた自然との調和の在り方を、再認識するようになりました。

そして迎える2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会。本区には、世界中から、多くの方々が訪れます。

こうした背景を踏まえると、人々が忘れかけていた自然と命を大切に思う気持ちで、区内に花を増やす新たな取組みを進め、花を慈しむ心、思いやりとおもてなしの心を、本区に訪れる方々に伝えていくことが大変重要です。

「花の心プロジェクト」は、こうした背景を踏まえ、推進するプロジェクトです。

花の心プロジェクトの目的

2020年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、国内外から大勢のお客様を迎えます。

人情豊かな「歴史と文化のまち」台東区。

我が台東区だからこそできる「花の心プロジェクト」を推進することにより、全ての区民が花を慈しみ、おもてなしの心を育むことで、おもてなしのまち台東区を世界に向かってアピールしていきます。

花の心とは

花は、自然が醸し出す太陽と大地からの贈り物です。

花は、人の心を豊かにし、安らぎとゆとり、希望と勇気をもたらします。

花の心。

それは、思いやりであり、公共心であり、心豊かであるおいのあるまちを築く原動力です。



「花の心 たいとう」ロゴマーク

制作：東京藝術大学 宮廻正明教授

花の心 たいとう宣言

台東区は古くから
花に親しむ心が受け継がれ
今なお 人々の暮らしの中で息づいています

花は 人の心を豊かにし
安らぎとゆとり 希望と勇気を
もたらします

全ての区民が 花を慈しむ心と
おもてなしの心を育み
心豊かで うるおいのあるまちを目指すことを願い
ここに 花の心 たいとう宣言をします



区の花「あさがお」

平成28年4月1日 告示 第220号

全ての区民が花を慈しむ心と、おもてなしの心を育み、心豊かで、潤いのあるまちを目指し、学識経験者、区民、区職員等で構成された「花の心台東宣言起草委員会」により、答申されたものです。

花の碑の由来・場所

春のうららの隅田川 のほりくだりの船人が……

武島羽衣作詞・滝廉太郎作曲「花」。本碑は、羽衣自筆の歌詞を刻み、昭和三十一年十一月三日、その教え子たちで結成された「武島羽衣先生歌碑建設会」によって建立された。

手漕ぎ舟の行き交う、往時ののどかな隅田川。その情景は、歌曲「花」により、今なお多くの人々に親しまれ、歌い継がれている。



住所：浅草七丁目一番 隅田公園

